

平成27年度 事業報告

公益財団法人川崎市生涯学習財団が定款第4条に基づき平成27年度事業計画により実施した、平成27年度の事業実績は以下のとおりである。

I 公的目的事業

1 生涯学習に関する学習機会及び情報の提供並びに活動支援事業(公1)

(1) 生涯学習に関する学習機会提供事業 (公1)

①かわさき市民アカデミー協働事業(定款第4条第1項第1号)

川崎市が全国に誇れる市民大学である、「かわさき市民アカデミー」は高い専門性を備えた継続的で系統的な学びの場であり、生涯学習社会実現の一助となっている。

平成22年度まで当財団が運営してきた事業であるが、平成23年度以降は、認定NPO法人かわさき市民アカデミーと協働で運営している。当財団は広報と会場確保、三者連絡会議の主宰及び各種委員会への委員派遣、対外活動支援等の役割を担い事業を実施した。

ア) 三者連絡会議の主宰

会場：生涯学習プラザ会議室

出席者：生涯学習財団、認定NPO法人川崎市市民アカデミー、市民アカデミー

	27年度	26年度	25年度
回数	4	4	4

イ) 開講式

日時：平成27年4月8日(水)

対象：2015年度 前期受講生

出席者：かわさき市民アカデミー学長、認定NPO法人かわさき市民アカデミー理事長
川崎市生涯学習財団理事長、ほか

来賓：川崎市代理砂田副市長

内容：式典、記念講演「資本主義の終焉と歴史の危機」

講師：日本大学 教授 水野 和夫

	27年度	26年度	25年度
参加者数	144	138	153

ウ) フェスタ

日時：平成27年11月7日(土)・8日(日)

内容：

- ・基調講演(11月8日) 第1部(14:00~15:00)「宇宙と私」
第2部(15:30~16:30)「If you can dream it, you can do it!
夢に向かってもう一歩」

講師 東京理科大学副学長、宇宙飛行士、医師 向井 千秋

- ・講演、演奏、子ども理科教室、模擬熟議、朗読、展示、フリーマーケットなど

	27年度	26年度	25年度
参加者数	907	836	1,174

エ) 受講生のつどい

日時 平成28年3月2日(水)

対象 講師・受講生

内容 人形劇講座受講生の発表/津軽三味線コンサート/各講師挨拶 他

	27年度	26年度	25年度
参加者数	103	97	82

オ) 平成27年度の講座・ワークショップ等開設数

	27年度	26年度	25年度
講座等開設数	104	99	93

カ) 会員・聴講生の受講者数

ア) 平成27年度(延べ受講者数)

	27年度	26年度	25年度
会員数	4,163	4,074	3,971
聴講生数	2,407	2,336	2,533
合計(前期・後期)	6,570	6,410	6,504

② 青少年地域間交流事業(ふれあいサマーキャンプ)(定款第4条第1項第1号)

公益財団法人川崎市生涯学習財団が川崎市教育委員会、一般財団法人川崎教職員会館とともに、PTA、校長会、青少年団体等で構成する「川崎市青少年地域間交流事業実行委員会」を設置し、川崎市の小中学生が、交流自治体との連携の中で子ども同士の交流や、豊かな自然や生活・文化にふれることにより、心身ともに健康に育つことを目的として実施した。

また、交流事業の一環として交流自治体(古座川町)の青少年の川崎市への受入れを行った。

実施コースと内容

ア) 北海道中標津町コース(8月19日~22日、3泊4日)小・中学生

(宿泊) 若竹の里及び旅館

(主な活動) 食品加工実習(アイスクリーム・バター・ソーセージ)、工場見学、学校訪問・交流、溪流釣り・摩周湖見学

イ) 岩手県花巻市コース(7月31日~8月3日、3泊4日)小・中学生

(宿泊) 公民館及びホームステイ

(主な活動) 昆虫生態観察、さき織り・和紙すき体験、カヌー・ボート体験、農業生活体験、被災地陸前高田訪問、地元の方々との交流

ウ) 長野県富士見町コース(7月28日~7月31日、3泊4日)小・中学生

(宿泊) 町田市自然休暇村

※害虫(床ダニ)の発生により「ハヶ岳少年自然の家」が利用中止となったため、急きょ宿泊地を変更して実施した。

(主な活動) 軽登山、酪農体験、川遊び、カレー作り、自然観察、天体観測、キャンドルファイヤーなど

エ) 和歌山県古座川町・太地町コース(7月28日~7月31日、3泊4日)小・中学生

(宿泊) ホームステイ及び旅館

(主な活動) 地元小学生との交流、ゆずジャム作り、熊野古道ウォーク、川遊び、カヌー教室、くじら博物館見学など

- オ) 島根県益田市コース(7月24日～27日、3泊4日) 小・中学生
 (宿 泊) 公民館、集会場、ホームステイ
 (主な活動) 地元の小中学生と交流、夜神楽見学・体験、川遊び、竹細工、
 ツリークライミング、かまど調理体験、秋冷道ウォークなど

	参加者数		
	27年度	26年度	25年度
ア 北海道中標津町コース	23	23	24
イ 岩手県花巻市コース	11	22	23
ウ 長野県富士見町コース	39	42	35
エ 和歌山県古座川町・太地町コース	24	25	24
オ 島根県益田市コース	12	20	20
合 計	109	132	126

- カ) 交流自治体の青少年受入
 和歌山県古座川町受入(8月26日～28日、2泊3日) 小学6年生
 (宿 泊) 川崎市青少年の家
 (主な活動) 歓迎式(教育長ほか)、学校交流(子母口小学校)、
 古座川町コース参加児童との交流、東芝未来科学館見学、
 玉川大学キャンパス見学、よみうりランド、
 岡本太郎美術館見学など

	27年度	26年度	25年度
参加児童数	12	7	18

③キッズセミナー(定款第4条第1項第1号)

教職経験者で組織する認定NPO法人教育活動総合サポートセンターと連携し、学校の夏季休業期間に生涯学習プラザで自由研究やパソコンなどの体験活動等を通して新たな興味・関心を喚起しながら、学習活動の充実を図ることを目的に実施した。

- ア) 期 間 平成27年7月21日(火)～7月25日(土)の5日間
 イ) 実施内容 基礎的、復習的な学習、科学的思考を働かせて学ぶ学習、創意工夫しながら学ぶ学習の3コース、 延べ23講座
 ウ) 対 象 川崎市生涯学習プラザに通うことのできる市内在住の小学校3年生から6年生の児童
 エ) 講 師 認定NPO法人教育活動総合サポートセンターに登録している教職経験者

	27年度	26年度	25年度
受講児童数	310	319	281
延べ受講者数	856	760	1,008

④子ども陶芸教室(定款第4条第1項第1号)

生涯学習プラザ陶芸室を活用し、陶芸を学ぶ市民(陶芸教室受講生)のボランティア活動を促進するため、学校の夏季休業期間に小学校5～6年生を対象とした「子ども陶芸教室」を開催した。

	27年度	26年度	25年度
参加者数	29	27	27

⑤施設提供事業（定款第4条第1項第1号）

川崎市における生涯学習活動の拠点である生涯学習プラザにおいて、通年開館（年末年始を除く）による施設（多目的ルーム、フィットネスルーム、実習室、研修室、会議室等）の提供を行った。市民が「いつでも」「だれでも」、会議をはじめ、学習や活動の場として利用できるようにしてきた。年間345日にわたって貸館を提供した。

区 分		401会議室	301会議室	201会議室	202会議室	101活動室	
件数	27年度	450	512	484	509	518	
	稼働率 (有料稼働率)	43.5% (16.1%)	49.5% (19.2%)	46.8% (21.2%)	49.2% (29.3%)	50.0% (37.6%)	
	26年度	449	574	488	507	506	
	25年度	428	487	388	398	508	
区 分		402フィットネス ルーム	302多目的 ルーム	203活動室	303研修室	B1実習室	合 計
件数	27年度	1,519	1,413	1,110	100	337	6,952
	稼働率 (有料稼働率)	73.7% (59.8%)	68.6% (62.8%)	53.9% (42.8%)	9.7% (0.1%)	32.6% (0.0%)	
	26年度	1,426	1,458	1,100	171	360	7,039
	25年度	1,416	1,406	957	138	363	6,489

注1 会議室、101活動室、研修室、実習室、の利用件数は午前・午後・夜間を各1件として積算、203活動室、多目的、フィットネスルームについては2時間単位を1件として積算。

(成果・課題等)

- ・かわさき市民アカデミーは、講座数、受講者数とも2年連続で増加している。役割分担も定着しており事業運営も順調である。引き続き認定NPO法人かわさき市民アカデミーと協働し安定的に事業を継続していく。
- ・青少年地域間交流事業は、害虫（床ダニ）の発生のため消毒の間八ヶ岳少年自然の家が使用できなくなったが、別施設を利用することにより活動内容を変更せず実施できた。他のコースにおいても、交流自治体の子どもたちとの交流や地元の協力により、他では体験できない活動が今年度も展開できた。子どもたちの感想からは、地域交流をとおして得た貴重な体験が成長の糧となったことが伺えた。受入れ自治体の協力がなければ実施できない事業であり、引き続き関係を維持していくことが重要である。
- ・キッズセミナーは、認定NPO法人教育活動総合サポートセンターと連携・協力のもとに実施しているが、平成26年度に延べ参加者数の大幅な減少が見られたことから、今年度は講座内容の精選を行うなど講座内容を調整した結果、延べ参加者が96人の増加に転じた。引き続き講座内容を精査し延べ参加者数の増加につなげたい。
- ・子ども陶芸教室は、収益事業である陶芸教室の受講生がボランティアとして活躍する場を提供しており、公益事業と収益事業の関係付けを行う場として、また、子どもとシニア層をつなぐ場として機能しており特徴ある事業となっている。
- ・生涯学習プラザは、インターネットからの予約を改善、更なる利用者へのサービス向上に努め、利用率も昨年より向上した。

(2) 生涯学習に関する活動支援事業 (公1)

シニア世代がこれまで社会で培ってきた豊富な経験や、知識・能力等人的資源を有効に活用し、地域社会が抱える多様な課題の解決や学校支援に向けた活動ができるよう、各種講座等を実施し、シニア世代が主体的に社会環境の変化に対応しながら様々な活動ができるよう支援した。

① シニア活動支援事業 (定款第4条第1項第2号)

ア) 生涯学習ボランティア養成・派遣

a) ボランティア養成講座

	修了者		
	27年度	26年度	25年度
小学校PC活用授業ボランティア養成講座 平成27年11月16日(月)～11月30日(月) 全3回	12	—	25
特別支援教育ボランティア養成講座 平成27年10月3日(土)～10月31日(土) 全5回	37	29	22
保育ボランティア養成講座 平成27年2月2日(火)～3月2日(水) 全5回	8	10	11
合 計	57	39	58

b) ボランティアの派遣

		27年度	26年度	25年度
小学校パソコンボランティア	回 数	175	201	144
	派遣延べ人数	510	579	486
環境学習ボランティア	回 数	22	23	22
	派遣延べ人数	83	83	88
陶芸ボランティア	回 数	2	3	3
	派遣延べ人数	34	61	24
特別支援教育ボランティア (※回数 は派遣延べ人数と同数)	派遣延べ人数	1,349	1,008	—
合 計	回 数	1,548	1,235	169
	派遣延べ人数	1,957	1,731	598

c) 交流会 (情報交換会)

		27年度	26年度	25年度
特別支援教育ボランティア 交流会	回 数	2	2	1
	参加者数	37	29	10

イ) 地域協働講座

認定NPO法人かわさき市民アカデミーと協働で、アカデミーで学習した知識・経験を地域還元するとともに、大学等高等教育機関・地域団体・企業等と連携した講座、ボランティア活動につなげる講座等、シニア活動を支援する内容で実施した。

a) 前期

	27年度	26年度	25年度
講 座 数	5	5	5
参加延べ人数	191	215	218

- A プロから学ぶ人形劇（短期）
- B 川崎の民俗芸能Ⅰ（短期）
- C 傾聴ボランティア講座（長期）
- D 地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その10（長期）
- E 医療財前線の現場から その4－先端医療を学ぶ（短期）

b) 後期

	27年度	26年度	25年度
講座数	6	6	6
参加延べ人数	207	243	203
前期後期合計	398	458	421

- A プロから学ぶ人形劇Ⅱ（短期）
 - B 川崎の民俗芸能Ⅱ－川崎の祭りと舞（短期）
 - C 最先端科学の知られざる自然科学史とエピソード（短期）
 - D 認知症の理解と支援－傾聴ボランティア活動（長期）
 - E 地域社会に貢献している川崎の会社の人々 その11（長期）
 - F 発達障がいの青年・成人の方の理解を深めるために（短期）
- ※長期は10回、短期は5回の講座。

ウ) シニアシンポジウムの開催

シニアの地域参加やシニア世代による地域貢献活動を考える機会となる講演会を開催した。

シニア活動講演会 テーマ「認知症は、治る!？」 講師 林 勝彦氏 平成27年12月1日（火）		27年度	26年度	25年度
	参加者数	156	142	85

エ) シニア活動支援事業推進会議

シニア活動事業を円滑かつ効果的に進めるための協議を行うシニア事業推進会議を開催した。

シニア活動推進会議 平成27年11月12日（木）		27年度	26年度	25年度
	出席者数	14	10	11

オ) シニア人材の紹介や相談の実施

かわさき市民アカデミーの理科実験グループ等を地域の寺子屋体験活動の講師として紹介した。

②その他支援事業（定款第4条第1項第1号）

ア) ランチタイムロビーコンサート 年間11回実施 来場者 延べ480人

イ) なかはらママカフェ in 生涯学習プラザ（共催）全9回 参加者 延べ334人

（成果・課題等）

・ 昨年度から、財団の特定資産である「生涯学習推進特定資産」を活用して実施している特別支援教育ボランティア養成及び派遣事業は、今年度も要望が多く派遣数が増えた。社会的に需要が高い事業であることから、今後もボランティア派遣希望が増えることが見込まれる。現在登録しているボランティアで活動を休止している人もおり、また多様化する子どもの状況に対応した活動が求められていることから、派遣に必要な人員を確保することや、活動の質を高める取組が必要である。また、派遣したボランティアが活動を継続していくための支援として、各区学校支援センターの協力のもとに実施した特別支援教育ボランティア交流会は課題を共有する場として重要であり、引き続き実施する必要がある。ただし、財団の特定資産も有限であり、慎重な検討が必要である。

- ・ 地域協働講座は、昨年度に比べ受講者数は減少し、受講生数は一講座あたり平均約 36 名となった。一講座あたり平均 40 人超の受講生を維持することで安定した運営につながるため、企画内容等の改善が求められる。なお、シニア世代の地域活動へつなげるためには実習を含めた内容とすることが必要となり、受講生枠に制限が必要となることもあるため、受講生増と内容との調整が難しい講座もあった。地域活動をねらいとしながらも「地域を知る」ことや地域の協力で企画するものなど間接的に活動につながることも視野に入れ、シニア世代の地域活動を促進するような講座をバランスよく実施していくことで目標を達成したい。
- ・ ランチタイムロビーコンサートは、昨年度に比べて観客数が減少したが、年度末には「音楽のまち かわさき」の取材を受けるなど、メディアへの露出も多くなったため今後も広報活動を充実していきたい。

(3) 生涯学習に関する情報収集、情報提供事業（公1）

市民に幅広く情報の提供を行うため、生涯学習に係わる諸事業や人材情報を収集し、幅広い学習情報の活用に努め、広報活動の充実を図った。

①学習情報の収集及び学習相談（定款第4条第1項第3号）

生涯学習人材情報の収集とその活用についての事業を推進した。

- 主な事業
- ・ 指導者・人材、情報の収集と活用
 - ・ 学習指導者相談・紹介

②生涯学習情報誌による情報発信の充実（定款第4条第1項第3号）

ア) ステージアップ

- 内 容
- ・ 生涯学習の支援及び財団事業の広報
 - ・ 市内の公共・民間の生涯学習・文化情報の提供
 - ・ 市民グループの活動取材
 - ・ さまざまなジャンルで活躍している市民へのインタビュー
 - ・ 市民アカデミーや財団主催のイベントPR、紹介

	27年度	26年度	25年度
発行部数（A4判 8ページ）	1回10,000部	1回10,000部	1回10,000部
発行回数	年6回(偶数月)	年6回(偶数月)	年6回(偶数月)
配布先数 生涯学習関連施設及び金融機関などの民間施設	675	687	761

イ) かわさきの生涯学習情報（KSJ）

- 内 容
- ・ 生涯学習情報の提供及び財団事業の広報
 - ・ 市内の公共施設等の情報や文化情報の提供
 - ・ 市民アカデミーや財団主催のイベントPR、紹介

	27年度	26年度	25年度
発行部数（A4判 4ページ）	1回5,000部	1回5,000部	1回4,800部
発行回数	年8回(奇数月と4月・10月)	年8回(奇数月と4月・10月)	年8回(奇数月と4月・10月)
配布先数 生涯学習関連施設及び金融機関などの民間施設	524	513	581

③インターネット活用による情報提供の充実（定款第4条第1項第3号）

ホームページでは、この法人の事業のほか川崎市の事業や民間事業者の情報を含め、生涯学習情報を広く市民に提供し普及啓発に努めるため、「講座・イベント検索シス

テム」を導入し、「指導者・人材」「団体・グループ」情報を収集し、提供するなど、市民に提供する情報内容の充実を図ってきた。また、生涯学習情報誌は、情報の収集、提供及び調査研究の一環として、以下二種を発行した。メールマガジンの読者も徐々に増え、生涯学習情報提供の充実を図っている。

ア) ホームページ (定款第4条第1項第3号)

内 容 ・生涯学習情報の提供及び財団事業等の広報

・市民アカデミーや財団主催のイベントPR、紹介

27年度の取組：トップページのリニューアルや「指導者・人材」「団体・グループ」情報の掲載など、情報の充実に努めた。

	27年度	26年度	25年度
更新回数	564	482	423
web閲覧回数	52,013	52,422	48,760
講座・イベント情報 (Web版)掲載数	655	599	212

ホームページアドレス <http://www.kpal.or.jp/>

イ) 講座イベント情報検索システム

平成27年4月より、簡易型の「講座・イベント情報検索システム」をホームページ上に搭載し、市民への生涯学習情報の提供に努めてきた。

9月からは、日付やカテゴリーなど利用者のニーズに合わせた様々な検索方法ができ、写真やチラシなどの詳細情報も表示できる新しい検索システムの構築に取りかかり、平成28年4月に利用開始できるよう準備した。

ウ) メールマガジン (定款第4条第1項第3号)

内 容 ・生涯学習情報の提供及び財団事業等の広報

	27年度	26年度	25年度
発行回数	12	12	5
発信件数(登録者数)	118	84	63

(成果・課題等)

- ・ ホームページは、利用者にホームページ全体の情報が分かり易くなるよう、トップページをリニューアルした。表示がすっきりしたと好評である。
- ・ 生涯学習に関する情報提供では、「講座・イベント」の情報を探しやすいように、27年4月から簡易型の「検索システム」を導入してきたが、さらに日付等の複雑な条件で検索ができるよう、平成28年4月のスタートに向けて新しい「講座・イベント情報検索システム」を構築してきた。委託業者へ細かいオーダーも出しながら納得のできるシステムに仕上がってきた。
- ・ 『ステージアップ』は「寺子屋事業」や「ものづくり」「農業」「スポーツ」など幅広い視点で取材を行い、市内の生涯学習活動を多岐にわたって掲載するよう努めた。『ステージアップ』『かわさきの生涯学習情報(KSJ)』とともに、内容の充実、配布先の拡充に力を入れたい。

2 生涯学習関連施設管理運営事業 (公2)

(定款第4条第1項第4号) (公2)

(1) 指定管理3施設の管理・運営

<青少年の家>

指定管理期間：平成23年4月1日～平成28年3月31日 5年度目

認定NPO法人教育活動総合サポートセンターとの共同運営事業体で管理・運営

青少年をはじめ幼児から青少年指導者に至る幅広い市民の方々のための宿泊・研修施設として、様々な体験活動、ボランティア活動、青少年の居場所や活動拠点として、青少年の健全育成を図ってきた。学校連携事業、青少年仲間づくり事業、指導者養成事業等の多様な体験活動を通して、また、地域の高齢者や乳幼児との交流を通して、青少年の「生きる力」を育てている。

ア) 利用状況

	27年度	26年度	25年度
延人数	36,502	40,598	40,819
団体数	826	870	861

イ) 事業実施状況

事業名	参加者数			
	27年度	26年度	25年度	
◆施設提供(施設活用)事業				
・プール開放 全6回	275	351	309	
◆学校連携事業				
・ほのぼのスクール(学社融合・通学合宿) 「自分でやろう!みんなとやろう!」4泊5日	47	40	52	
・セカンドスクール	年間通して随時	—	—	
・学校で計画する行事 体験的な学習活動などの共同活動	年間通して随時	—	—	
・ふれあい体験学習(不登校対策・特別支援教育・ 宿泊体験活動)日帰り2回、1泊2日を3回	99	87	122	
・教育相談事業	年間通して随時	—	—	
◆地域連携や支援、仲間づくり事業				
・子ども運営委員会 年間7回	51	50	48	
・レッツチャレンジASOBI 全7回	89	153	180	
・こども仲間づくり 「こどもエコチャレンジクラブ」全12回	401	384	384	
・特別企画事業 「放課後おもしろ クラブ」	i おもしろ理科教室 全5回	125	119	238
	ii おもしろ造形教室全10回	200	100	90
	iii お筆体験教室 全1回	廃止	18	238
・「川崎市青少年の家ユースワーカーズ倶楽部」	592	366	381	
・第20回青少年の家フェスタ 「20周年だよ全員集合! ~∞の輪~」	1,000	1,300	1,100	
・シニアサポーターズクラブ 卓球教室 毎週火曜日	年間参加者数 1,171	1,247	820	
・親子人形劇場「さんびきのこぶた」全1回	115	61	297	
・よちよち歩きの子集まれ(「親子リトミック」を含む)	983	972	887	

(成果・課題等)

- ・ 青少年の家の魅力の発信方法として、利用団体に役立つためのプログラム支援を充実させてきた。まずは利用の手引を作成し施設をよりよく活用できるようにした。特に野外炊事用の案内を丁寧に行うことで利用の増加につながった。さらに、学校向けや一般団体向けに活動例をホームページに掲載した。市立学校全校にチラシの配付も行った。
- ・ 子ども運営委員会ではエコキャップ運動と連動してキャップを利用した壁掛けを作成し掲示した。楽しい雰囲気を出したりして施設のイメージアップを図るなどしながら充実した活動ができた。
- ・ 子どもたちを対象とした事業が多いことから、安全第一を心がけ、事故なく計画に沿って実施することができた。事業の実施に向けての事前の準備を十分に行うと共に、関係する学校や諸団体、関係機関と連携を取りながら進めてきた。また、参加する子どもの保護者への説明会や参観の機会も設定しながら理解と協力を得てきた。事業終了後の参加者や教員、保護者のアンケートの中には感謝と今後も継続してほしいという意見が多く書かれていた。幼児と保護者対象のイベントではミニカフェを設置することにより大きな反響を得られ参加者の増加にもつながった。
- ・ 中学生での参加者が高校入学後にユースワーカーズ倶楽部の部員となり学校の仲間を多数ボランティア活動に誘ってくれた。ボランティアが育つ環境としても大切に考えていきたい。
- ・ 施設の老朽化に伴う消防設備等の修繕について、宿泊者等利用者の安全に配慮して行った。

<子ども夢パーク>

指定管理期間：平成23年4月1日～平成28年3月31日 5年度目

NPO法人フリースペースたまりばとの共同運営事業体で管理・運営

「川崎市子どもの権利に関する条例」を具現化する子どもの活動拠点とし、18歳未満の子どもたちが中心となって自分たちで、自由に遊びながら使い方を考え、つくり続けていく施設である。「冒険遊び場（プレーパーク）」の運営と不登校の児童・生徒の居場所としての「フリースペースえん」の運営を柱としており入場料は無料の施設である。「だれもが自分らしくいられるように」を特色に、多彩で多岐にわたる事業を実施し、子どもたちの夢を育み、子どもたちの健やかな成長を目指してきた。

ア) 利用状況

	27年度	26年度	25年度
延人数	91,895	91,437	93,550
団体数	769	908	749

イ) 事業実施状況

事業名	参加者数		
	27年度	26年度	25年度
◆イベント事業			
・GWスペシャルまいにちがプレーパークの日	1,845 (5日間)	1,533 (5日間)	2,928 (10日間)
・天下一ベーゴマ大会	27	30	19
・じゃがいもの苗植え	実施せず	30	20
・さつまいもの苗植え	15	7	14
・夏野菜の苗植え	15	8	12
・じゃがいも掘り・収穫祭	40	45	50

・さつまいも掘り・収穫祭	収穫なし	40	40
・おやつピザの日(26年度は年1回実施)	実施せず	50	110
・あそぼうパン	200	115	122
・ドリームシンフォニー(夢♪交響楽)	474	293	実施せず
・夢パまつり2015 ～祝12周年～水遊びスペシャル	2,170	2,090	2,248
・夢パ温泉づくり	実施せず	35	15
・KUJIROCK2015 SUMMER Vol. 31	243	320	312
・KUJIROCK2015 WINTER Vol. 32	213	285	223
・KUJIROCK2015 SPRING Vol. 33	220	270	440
・ゆるROCK(27年度は年1回実施)	42	35	60
・まいにちがプレーパークの日 (9月の大型連休)	1,614	27年度 新規事業	—
・かわさき子どもの権利の日のつどい			3,120
・こどもゆめ横丁 (かわさき子どもの権利の日事業 子ども夢パーク共同実施)	828	2,517	1,227
・クリスマスイベント	145	283	実施せず
・初夢!新春イベント ～もちつき・どんど焼き・昔あそび～	911	880	813
◆子どもの遊び・活動に関わる事業			
・親子でもっとあそぼう会	434	194	450
・おはなしおはなしパーク	166	142	390
・ベーゴマの日	105	178	400
・野球大会	83	77	91
・スタジオ講習	184	180	229
・スタジオ利用	4,063	4,595	5,434
・スタジオの会(27年度は年5回実施)	219	95	90
・おさがりバザール	4,010	1,580	2,100
・「ふるさと」を歌おう	90	50	22
・野染めをしよう	40	45	45
◆連携事業(子ども・市民・地域・行政等)			
・プチ保養 in 川崎 (主催:福島の子どもたちとともに)	70	70	90
・川崎サマースクール2015 (主催:福島の子どもたちとともに)	70	71	91
・福島親子 in 川崎 夢パークで遊ぼう! (主催:福島の子どもたちとともに)	72	70	60
・ちいくれんあそぼうデイ (主催:ちいくれん)	80	75	26年度 新規事業
・親子でもっとあそぼう会 講演会「遊び 場のもつ力」(主催:支援委員会)	19	60	50
・子ども会議交流会(主催:川崎市子ども会議)	30	30	30

・冒険遊び場全国一斉開催の日	実施せず	1,637 (9日間)	1,949 (9日間)
・遊び場づくりシンポジウム ～遊びの種をまこう～(主催:支援委員会)	40	34	25

(成果・課題等)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 27年度は4大イベント（ドリームシンフォニー・夢パまつり・こどもゆめ横丁・新春イベント）の他、日常的なミニイベントに力を入れた。ゴールデンウィーク以外に9月も大型連休となったため、26年度は1回だった「まいにちがプレーパークの日」を年2回実施。期間中に火と工具が使える他、あそぼうパンやドラム缶風呂、工作コーナーなどを催し、たくさん子どもたちに屋外で自由に遊びを楽しんでもらえた。 ・ 子ども参画に関しては、スタジオ利用者によるライブ「KUJIROCK」は子どもたちが中心となり企画・運営・準備などを行っている。参加バンド数も安定しており、会議・反省会や親睦会などを通して子どもたち主導で行われていくことが受け継がれている。「横丁会議」では、今年度もゆめ横丁実施に向けて、またその後も多くの子どもが会議に参加し「子どもの街」をつくりあげた。 ・ 今年度はスタッフ研修で「夢パークの理念とその発信」をテーマに研修を行ない、認識の共有や、理念の再確認を通してスタッフの資質向上を目指した。来年度も引き続き、理念研修やプレーパーク研修を行っていくことで、子どものあそび場・居場所機能をより充実させていきたい。

<大山街道ふるさと館>

指定管理期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日 2年度目

認定NPO法人教育活動総合サポートセンターとの共同運営事業体で管理・運営

二子・溝口は江戸期、東海道の脇往還（大山街道）の宿場町として大いに賑わった古い歴史をもっている。ふるさと館は、こうした大山街道に関わる地域の歴史、民俗、自然に関する資料やゆかりの文化人の作品展示を行うとともに、大山街道にまつわる文化講演会や講座を開催し、高津区民はもとより川崎市民の子どもから高齢者までを対象に、地域の生活・文化などの理解と地域への愛着心の高揚を図ってきた。

これまでの有益な講座等を継承・発展させ、新しい事業等を展開するとともに、施設面での改善等も進めた。

ア) 施設利用状況

	27年度	26年度	25年度
延人数	33,224	30,697	32,891
利用件数	1,831	1,545	1,849

イ) 展示室観覧者数

	27年度	26年度	25年度
延人数	9,694	8,335	6,624
延日数	357	312	357

ウ) 事業実施状況

事業名	参加者数		
	27年度	26年度	25年度
◆博物館事業			
・第1回企画展「趣味の作品展」～高津区老人クラブ連合会作品展～ 6月19日～22日	357	300	228
・第2回企画展「ある郷土史家のみたふるさと高津～上田恒三氏寄贈史料から～殖産興業を前にした溝ノ口の当時の様子」6月27日～7月26日	1,269	1,629	932
・第3回企画展示「地域が創出するカルチャー展」～趣味が創り出す感動の世界～ 3月5日～11日	1,346	1,012	335
<ul style="list-style-type: none"> ・ミニふるさと企画展（廊下展示） <ul style="list-style-type: none"> ①「南武鉄道の歴史」 ②「諏訪河原村の歴史」 ③「久地村の歴史」 ・情報機器の活用 1階展示室内にテレビとDVDプレーヤーを設置し、「ニヶ領見どころスポット」を常時放映。また、オリジナルのDVD「魅力がいっぱい大山街道～二子・溝口をあるく」を制作。 ・アーカイブ展示（ふるさと高津の魅力再発見） 3月5日～11日 ・古文書・資料収集ならびに管理・リファレンス（職員研修、史料映像化準備） 			
◆歴史文化探究事業			
・第1回歴史探究講座 「古代の川崎市域の道」 9月12日	51	59	71
・第2回歴史探究講座 「中世の川崎市域の道」 10月17日	63	40	53
・第3回歴史探究講座 「近世の川崎市域の道」 3月5日	62	57	33
・街道学習講座「なるほど！歩いて楽しい大山街道」～錦秋の大山街道を訪ねて～ ①10月29日 ②11月12日 ③11月26日	83	64	55
・第1回ふるさと発見講座 「高津のアーカイブを語る」～高津の昭和を振り返る～ 5月16日	44	51	26年度講座追加
・第2回ふるさと発見講座 「川崎の発展に尽くした人物伝」～浅野総一郎と秋元喜四郎～ 12月8日	39	53	79
・第1回ふるさとまち歩き講座 「高津のまちを歩きませんか」～溝ノ口から久地巡る～ 4月17日	23	27	26年度新規事業
・第2回ふるさとまち歩き講座 「高津のまちを歩きませんか」～二子を歩く～ 3月11日	19	27年度講座追加	—
・子ども大山街道探検クラブ 毎月第3水曜日 ニヶ領用水・溝口神社・二子神社見学、ニヶ領用水清掃、昔遊び、研究発表会 など	227	427	314

<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと子ども出前教室（4校） 高津小(6月)、東高津小(11月)、 久地小(1月)、坂戸小(2月) 	613	761	589
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生のための郷土理解講座 中学生対象 8月10日 	31	30	21
<ul style="list-style-type: none"> ・街道学習受入事業（小中高生、大学生への資料提供、助言等随時） 随時、夏休み期間中は強調期間（夏休みキッズウィーク） 			
◆地域活性化事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・大山街道地域コーディネーター連絡会 	11回	11回	26年度 新規事業
<ul style="list-style-type: none"> ・大山街道ふるさと館サポーターズクラブ 設立総会 5月19日 サポーターズクラブまつり 3月6日 「岡本太郎の芸術(DVD放映)」32名 「大山街道ぶらぶら散歩」46名 「大山街道フェスタ記念講演会」48名 	126	27年度 新規事業	—
<ul style="list-style-type: none"> ・みちまちラウンジ環境整備 ・かわさきかえるプロジェクトへの協力 ・ふるさと館まつり(3月:第3回企画展、第3回歴史探究講座、高津アーカイブ展) ・大山街道フェスタへの協力(3月6日:会場提供、ふるさと館まつり) ・高津区民祭への協力(7月26日:施設提供、企画展、企画展記念講演会) ・高津図書館との連携事業(「子ども大山街道探検クラブの作品展示とおはなし会」) ・地域連携事業 久本小の寺子屋事業(10月7日14日)、近隣中学校・団体との連携事業等 			
◆その他の事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・大山街道ガイドブック 「訪ねて楽しい大山街道」の販売等 	287部	268部	430部
<ul style="list-style-type: none"> ・1階スロープに大山街道の宿場等の提灯の掲示 ・大山街道ふるさと館の新しい幟を作成し、玄関前に設置 ・大山参詣の版画(複写)を館内壁面に掲示 			

(成果・課題等)

<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用(貸館業務)については、昨年度より件数等が多いが、さらに向上するよう取り組むことが大切である。 ・常設展への来館者数も伸びているが、地域の交流の場、大山街道の歴史等を発信する場としてさらに向上するよう取り組みたい。 ・博物館事業、歴史文化探究事業、地域活性化事業を年度当初の計画通り実施することができた。 ・博物館事業は、常設展のほか、展示室での3回の企画展、ならびにスロープ掲示板を活用しての3回のミニ企画展(ふるさと発見展)などを展開した。常設展で大山街道と二子・溝口との歴史・文化的な関連を紹介するほか、第1回、第3回企画展は市民の作品展示とし、地域の方々の好評を博した。また、展示室には、映像機器を設置し、川崎の誇りとなる二ヶ領用水の歴史などを紹介するDVDを放映した。また、新たな放映に向け、二子・溝口を紹介するオリジナルのDVDを作成した。 ・歴史文化探究事業では、歴史探究講座、街道学習講座(街道歩き)、ふるさと発見講座でそれぞれ専門家を招き講演会を開催した。高津の町歩きでは身近な街並みの歴史を参加者に再発見していただいた。 ・児童生徒の郷土への愛着を育む「ふるさと子ども出前授業」「子ども大山街道探検クラブ」「中学生のための郷土理解講座」なども成果をあげ実施できた。
--

- ・ 地域活性化事業は、大山街道ふるさと館サポーターズクラブを今年度設立し、3月にサポーターズクラブまつりを実施した。また、大山街道フェスタへの参加事業として実施した「地域が創出するカルチャー展」も盛況に行われた。そのほか、地域連携事業、学習支援事業として、地域の団体や小中学校への講師派遣事業や高津図書館との交流などに取り組んだ。
- ・ 施設管理については、新しい大山街道ふるさと館の幟を作成し、玄関先に立てたり、1階スロープに大山街道の宿場の提灯（11個）を取り付けたりした。施設は老朽化しており、数カ所の修繕を行う予定であるが、雨漏りも見られることから、外壁の塗装などについて川崎市とも相談している。

(2) その他指定管理施設受託事業以外の関連自主事業

平成28年度以降の指定管理再申請等に向けて検討を行った。

- ①川崎市青少年の家事業検討委員会
- ②川崎市子ども夢パーク事業検討委員会
- ③川崎市市民ミュージアム事業検討委員会

青少年の家と子ども夢パークの指定管理申請をそれぞれNPO法人と連携して行い、子ども夢パークは指定管理に選定されたが、青少年の家は選定されなかった。

市民ミュージアムの指定管理に向け、コンサルタントへの業務委託を行い、準備を進めてきた。

3 生涯学習及び情報に関する管理運営受託事業（公3）

この事業は、生涯学習に関する活動及び生涯学習に関する情報の提供を行うことで、川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図ることを目的とした事業である。

(1) 市民ミュージアム学芸業務（定款第4条第1項第5号）

美術館と博物館の機能を併せ持つ川崎市市民ミュージアムにおいて、川崎市から学芸業務を受託し、企画展や常設展の開催、実習等の体験学習を提供し、市民の文化芸術の振興を図った。

① 企画展

ア) 企画展示室1・企画展示室2

	27年度	26年度	25年度
総入場者数	40,974	23,847	44,786

a	画楽60年 渡辺豊重展	観覧者数	2,539人
b	木村伊兵衛写真賞 40周年記念展	〃	8,131人
c	古鏡 その神秘と力	〃	3,923人
d	江口寿史展 KING OF POP	〃	10,310人
e	2015川崎フロンターレ展	〃	4,801人
f	くらしの道具 いま・むかし	〃	9,089人
g	第49回かわさき市美術展	〃	2,181人

② アートギャラリー及び博物館展示 ほか

ア) アートギャラリー

第一期

- a 「スピード太郎」とその時代 市民ミュージアム所蔵・宍戸左行遺品資料を中心に
- b 一連のものがたり、一枚のモノガタリ

第二期

- c 鏡・リフレクション展
- d 新収蔵作品展

第三期

e コレクション展：収蔵品ピックアップ

イ) 博物館展示室

- a 民俗 原始 古代 中世 近世 近現代
- b マンスリー展示（毎月テーマを設定し資料を紹介する）
 - 4月18日～ 5月22日 八州様のお見まわりー川崎市域の改革組合村ー
 - 5月23日～ 6月26日 『吾妻鏡』にみる稲毛三郎重成
 - 6月27日～ 7月24日 江戸時代の「かけおち」事情
 - 7月25日～ 8月28日 夏休み子どもマンスリー 江戸時代の教科書
 - 8月29日～ 9月25日 波除堤 ー海岸線に築かれた堤防ー
 - 9月26日～10月30日 村を訪れる人々
 - 10月31日～11月27日 新収蔵資料展2015
 - 11月28日～12月27日 戦国武将・吉良頼康ー泉沢寺文書からさぐるー
 - 1月 5日～ 1月29日 初春マンスリー 申・さる・サル
 - 1月30日～ 3月 4日 村の中の村 ー複雑な近世村落の実態ー
 - 3月 5日～ 4月 1日 相給村落 ー複数の領主を持つ村ー

c 近現代展示室 特集展示

- 3月17日～ 5月22日 終戦70周年～PART I 「川崎大空襲」
- 5月23日～ 8月21日 終戦70周年～PART II 「戦時下の川崎」
- 8月22日～11月20日 「郵便局のはじまり」
- 11月21日～平成28年2月19日 「町内会の成り立ち」
- 2月20日～ 5月20日 「多摩川架橋の歴史」

ウ) 館外展示

- a 川崎の歴史と文化 川崎市役所第三庁舎 1階ロビー
 - 第14期 3月30日～ 6月26日 「シリーズ川崎の遺跡Ⅲ 初山遺跡の縄文ムラ」
 - 第15期 6月29日～ 8月28日 「戦時下の暮らし」
 - 第16期 8月31日～11月27日 「考古発掘速報展2015上半期」
 - 第17期 11月30日～ 1月29日 「昭和30年代の川崎
写真に残された川崎駅前・登戸駅前の街並み」
 - 第18期 2月 1日～ 4月1日 「考古発掘速報展2015下半期」

③ 映像ホール・ミニホール

ア) 映像ホール上映事業

	27年度	26年度	25年度
総入場者数	5,474	4,100	14,193

- a シネマテーク・コレクション フランスの映画特集 ボールゲームにおける愛と政治
- b MoMA ニューヨーク近代美術館 映画コレクション
- c 市民ミュージアム所蔵テレビドキュメンタリー 80年代からの検証1 [ビデオ]
- d 市民ミュージアム所蔵テレビドキュメンタリー 80年代からの検証2 [ビデオ]
- e 市民ミュージアム所蔵テレビドキュメンタリー 80年代からの検証3 [ビデオ]
- f 終戦70周年記念 戦争の記録と映画・戦争映画の視点
クロード・ランズマン特集/親子で見る戦争アニメ/戦争を記録したテレビドキュメンタリー[ビデオ]
- g 市民ミュージアム所蔵テレビドキュメンタリー 地域文化の伝承・自然[ビデオ・DVD]
- h かわさきシネマアワード 映画で見るかわさきの物語（ノミネート作品上映会）
- i シネマテーク・コレクション ATG 特集-ATGの役者たち
- J ビデオアート 1980年代の映像表現 松本俊夫
- K 企画展「江口寿史 KING OF POP」関連上映

イ) ビデオ・DVD 定期上映 映像ホール（毎週水曜日）（無料）

ウ) ミニホール上映事業

	27年度	26年度	25年度
総入場者数	934	450	963

- A 日本の伝統・工芸品・極める匠の世界（第一週）
 B 祭りの記録映像（第二週）
 C 日本の国宝・至宝（第三週）
 「美術のみかた」シリーズ 「オルセー美術館」シリーズ
 D 日本映画傑作選（第四週 午前・午後2回上映）

④ 教育普及との連携事業

	27年度	26年度	25年度
総参加者数	12,386	15,868	16,013

a 出張・来館プログラム	参加者数	1,243人
b 歴史散策「初山・菅生を歩く」	〃	12人
c 遺跡めぐり「武蔵国府と熊野神社古墳を歩く」	〃	14人
d 「くらしの道具、いま・むかし」団体受入 17校	〃	1,941人
e 古文書講座（4回）	〃	延べ 112人
f 学芸員によるミュージアム探検ツアー	〃	31人
g ミニ縄文土器づくり	〃	49人
h かわさき歴史点描	〃	47人
i ミュージアム講座（6回）	〃	延べ 52人
j 見学実習（大学学芸員資格課程）	〃	340人
k 博物館実習	〃	12人
l 社会科教育推進事業	〃	7,917人
m インターンシップ（ウーロンゴン大学）	〃	1人
n 美術館系プログラム		
「光学パラパラ」	〃	6人
「水面に映して」	〃	6人
「対話型鑑賞会」	〃	17人
o 企画展等関連講座・イベント等		
「渡辺豊重」展関連	〃	150人
「木村伊兵衛賞」関連	〃	20人
「古鏡」展関連	〃	12人
「江口寿史」展関連	〃	13人
「くらしの道具、いま・むかし」	〃	11人
p 職業体験	〃	114人
q 手作りメガネで3Dの世界を体験しよう	〃	42人
r 水面に映る花火を作ろう	〃	12人
s 福祉プログラム（高齢者・障害者）	〃	116人
t ABCアートブッククラブ（5回）	〃	96人

⑤ 調査・研究

- ア) 鶴見大学との保存処理に関する共同研究
 イ) 多摩川流域遺跡群研究会との井田伊勢台古墳群調査
 ウ) 多摩川低地における微細地形と遺跡立地に関する基本調査
 エ) 昭和30年代後半国鉄川崎駅前景観調査
 オ) 川崎市域周辺における富士山信仰の基礎調査
 カ) 川崎の民具名称調査
 キ) 考古・歴史・民俗の収蔵資料に関する調査・研究

- ク) 研究紀要の執筆
- ケ) 学習院大学との漫画資料に関する共同研究
- コ) 新たな川崎ゆかりの作家・人物に関する調査

1,000部

(成果・課題等)

- ・ 博物館部門では企画展として、「古鏡—その神秘とカー—」展及び「くらしの道具、いま・むかし」展を開催した。前者では、市内出土鏡を中心にしながら、神奈川県・東京都の弥生・古墳時代遺跡出土鏡、さらに日本列島の代表的な鏡、中国鏡というように輪郭を広げながら、文化財的にも価値の高い資料を数多く展示し、高い評価を得ることができた。しかし一方で入館者数は目標の70%にとどまり、また展示が専門的すぎたという点で課題が残った。また後者は、小学校3年生の社会科単元「昔の道具と人々の暮らし」の内容にあわせた企画で毎年開催している。小学生をはじめ高齢者まで幅広い層に好評であった。しかし学校利用は17校にとどまり、25年度の18校から減少した。これは26年度が休館で開催しなかったことが影響しているとも考えられるが、いずれにしても学校誘致の拡大が課題である。そのほか、マンスリー展示や館外展示など、収蔵資料を活用しながら川崎の歴史と文化を紹介することができた。また、教育普及担当と連携して多彩な事業を実施しており、学校への出張授業や地域への講師派遣などアウトリーチ（地域への出張サービス）の機会は増加している。調査研究では、大学との共同研究をはじめ、市域の歴史民俗に関わる調査に取り組んだ。
- ・ 美術館部門では、川崎ゆかりの作家として「渡辺豊重」展、また5年に一度開催している「木村伊兵衛写真賞40周年記念展」、さらに漫画セクションを有する当館ならではの展示として「江口寿史 KING OF POP」展の各企画展を開催した。渡辺展は入館目標数を大幅に下回ったが、当館で開催する意義は高く、今後もゆかりの作家の展示は継続していきたい。一方他の2展示は入館目標数を上回り大変好評を得た。特に江口展はこれまで少なかった40代・50代の男性の来館者が多く、今後の企画を考える上で参考になった。アートギャラリーでは収蔵作品を中心に親しみやすい展示に心がけるとともに、27年度は教育普及と連携して、新たな取り組みとして対話型の鑑賞法を行った。上映事業では、終戦70周年を特集した上映プログラムを組むなど、これまでない企画を打ち出した。27年度は116回の上映で6,436人、26年度は136回で3,769人であったことから増加しているが、一方で24年度は128回の上映で8,464人であった。現時点で映像ホールの入場者数は低迷気味であり、今後いかに回復するかが直近の課題である。

【市民ミュージアム全体】

- ・ 企画展の入場者数は前年度実績では大幅に増加しているが、25年度実績と比較すると同じ企画展数で6,000人ほど減じている。27年度は江口展が盛況であったことから回復の兆しを示したが、今後も企画内容とともに入館者増を図りたい。また同様に上映事業においても、新たにデジタルシステムが導入されたことで、入館者増を期待されているところである。当館の特徴であるフィルム上映とあわせて入場者数の増加につなげたいと考えている。
- ・ そのなかで、各事業の告知宣伝が大きな課題となっている。館の情報をいかに周知させていくか、市民ミュージアム総務室の企画広報担当との連携をより一層強化し、課題の克服に取り組んでいきたい。

(2) 青少年育成事業

① 青少年創作教室（定款第4条第1項第5号）

陶芸、絵画（油絵）等の美術・工芸を中心とした創作活動を通じて、青少年の情操を養うとともにその健全な育成を図る事業を川崎市教育委員会の受託事業として実施した。

- ・ 場所：生田中学校特別創作活動センター
- ・ 参加費：1,800円＋教材費（実費）

ア) 夏休み創作教室

教室名	回数	27年度		26年度	25年度
		参加者数	延べ参加者数	延べ参加者数	延べ参加者数
油 絵	3回	35	105	—	—
陶 芸	4回	28	112	40	48
工 作 1	3回	26	78	60	75
工 作 2	3回	27	81	36	93
合 計	13回	116	376	181	267

イ) 冬の創作教室

教室名	回数	27年度		26年度	25年度
		参加者数	延べ参加者数	延べ参加者数	延べ参加者数
陶 芸	4回	34	136	84	72
油 絵	3回	33	99	105	99
合 計	7回	67	235	189	171

年 間 合 計	20回	183	611	370	438
---------	-----	-----	-----	-----	-----

②地域の寺子屋事業

ア) 寺子屋先生養成講座（川崎市教育委員会の受託事業）

前期／平成27年6月17日(水)～7月15日(水)全5回／生涯学習プラザ他

受講者数： 33人 延べ参加人数：140人

後期／平成27年12月9日(水)～平成28年1月27日(水)全5回／高津市民館他

受講者数： 46人 延べ参加人数：197人

イ) 「中原区寺子屋ネットワーク」の設置及び「寺子屋すみよし」運営支援

中原区寺子屋ネットワーク会議 6回（準備会2回含む）

寺子屋すみよし学習支援・体験活動 16回

寺子屋すみよし運営会議 7回

(成果・課題等)

- 平成27年度で委託事業終了となる青少年創作教室では、夏、冬とも2～3年続いた受講生の減少が解消され、抽選を行うほどの申し込みがあった。これは、材料費を押さえるなど工作の内容を工夫し、新しい企画を提供できたことが一因と考えられる。
- 昨年度から始まった「地域の寺子屋事業」に関しては、市と協力して事業展開してきたが、今年度から「寺子屋先生養成講座」を受託実施するとともに、地域の寺子屋開設と運営を支援する目的で「中原区寺子屋ネットワーク」を立ち上げ、地域での運営支援体制を構築した。ネットワークの活動の一つである「寺子屋すみよし」では、スタッフの確保、学校との調整などを担い、順調に運営するための基礎づくりを支援した。運営は大変順調であり、1月には市長の視察も受けた。地域の寺子屋事業は拡大していく方向であるため、引き続き、ネットワークの活動支援を行うと共に、財団のノウハウを活かして人材育成分野での事業を受託しているが、今後は、地域の寺子屋のコーディネーターの育成等において教育文化会館・市民館と連携を図る等、拡大していく事業に対応できる委託事業化が課題である。

(3) ふれあいネット「生涯学習情報」管理（定款第4条第1項第5号）

川崎市教育委員会の受託事業として、生涯学習に関する情報（施設、講座、催し物、団体・グループ、指導者・人材）を収集・入力し、市内47カ所の生涯学習関連施設に設置した「ふれあいネット」を通して、情報提供を行った。

①ふれあいネット

	27年度	26年度	25年度
利用件数	7,693	12,681	18,740
入力件数	1,064	2,082	4,141

②情報システム関連事業

- ・広報 ステージアップでの広報
- ・神奈川県情報システムヘデータベースの提供

II 収益事業

1 生涯学習に関する多彩な体験講座事業（収1）

(1) スポーツ教室（定款第4条第1項第1号）（収1）

教室名	教室数	参加者数	延べ人数		
			27年度	26年度	25年度
ヨーガ	6	255	2,438	2,446	2,594
気功太極拳	6	224	2,065	1,973	2,084
ストレッチ健康体操	3	75	632	437	361
たのしいフラダンス	3	57	576	704	719
ストレッチ&リズム体操	3	75	671	776	684
エアロビクス◆	3	108	800	933	835
○ボディメイクエクササイズ◆	2	57	525	685	733
ピラティス◆	3	75	721	—	—
○ママのピラティス（親子）	2	30	159	591	738
○親子リトミック（親子）	5	183	834	1,324	1,346
ZUMBA	1	40	291	—	—
骨盤エクササイズ	1	28	206	—	—
からだをつかって英語で遊ぼう	1	34	202	—	—
合計	39	1,180	10,146	9,869	10,094

*親子リトミックは親子一組でカウントしている。 ◆は保育付き

*◆印の教室は保育ボランティア活動が、延べ人数265である。

*○印の教室は、昨年度より1教室少ない。

*ピラティス(1期から)、ZUMBA(3期から)、骨盤エクササイズ(3期から)、およびからだを使って英語で遊ぼう(3期から)は、平成27年度からの教室である。

他は、昨年度と同様1期～3期実施。

(2) 文化教室（定款第4条第1項第1号）（収1）

	教室名	27年度		26年度	25年度
		受講者数	延べ人数	延べ人数	延べ人数
春期 5月12日～ 7月15日	楽々うたの教室	28	116	※	※
	フラワーアレンジメント	15	69		
	写真教室	30	131		
	メディカルハーブ	23	106		
	プランターで楽しむ園芸	7	29		
	ワインを気軽に楽しむ	23	99		
秋期 10月6日～ 12月18日	楽々うたの教室	31	123		
	切り絵教室	12	58		
	写真教室	23	106		
	フラワーアレンジメント	19	88		
	メディカルハーブ&アロマテラピー	22	98		
	ワインを気軽に楽しむ	23	103		
冬期 2月4日～ 3月18日	楽々うたの教室	28	68		
	色えんぴつ画入門	20	54		
	写真教室	23	61		
	コーヒーセミナー	34	99		
	メディカルハーブ	21	58		
	フラワーアレンジメント	12	31		
合 計		394	1,497	1,201	1,191

※昨年度・一昨年度の各教室の人数は期・教室名が異なるので、合計のみ記した。
実施回数は、春期・秋期は各教室とも5回、冬期は3回である。

(3) 陶芸教室

ア) 「プラザ陶芸教室」水・土曜日（各コース全12回）

		27年度	26年度	25年度
・手びねりコース (4コース×3期)	参加者数	79	72	94
	延べ人数	948	864	1,128
・ろくろコース (4コース×3期)	参加者数	65	65	64
	延べ人数	780	780	768

イ) 「陶芸一般開放教室」木・金曜日（各コース全3回）

		27年度	26年度	25年度
・手びねりコース (24コース×3期)	参加者数	218	227	296
	延べ人数	654	681	888
・ろくろコース (24コース×3期)	参加者数	487	470	489
	延べ人数	1,461	1,410	1,467

ウ) 初心者陶芸教室

平成 27 年 5 月 12 日～6 月 16 日 (全 5 回)

	27 年度	26 年度	25 年度
実施回数 (教室数)	1	2	2
受講生数	12	23	21
参加者延べ人数	60	115	101

(4) パソコン教室 (共催)

NPO 法人「RKH 研究所」との共催で実施。パソコンの基本的操作から応用操作まで参加者のニーズに合わせた講習を行った。

	27 年度	26 年度	25 年度
実施回数	39	37	51
参加者延べ人数	159	162	256

2 生涯学習関連施設職員研修事業 (収 2)

(1) 放課後子ども総合プラン職員資質向上研修受託

(定款第 4 条第 1 項第 5 号)

この事業は、川崎市の生涯学習関連施設であるこども文化センター・わくわくプラザ等の職員の質的向上を目指した市の業務を受託するものである。

①期間 平成 27 年 6 月 25 日～12 月 17 日 (全 14 回)

②内容

内容	回数	対象者
管理職としての危機管理能力	2	館長・リーダー
地域とのマネジメント能力 (保護者・家庭)	2	全職員
地域とのマネジメント能力 (学校と地域)	1	全職員
危機管理能力とアレルギー対応	2	全職員
障害児への対応について	2	全職員
日本語が未習熟な児童への対応について	1	全職員
児童虐待について	1	全職員
中高生への対応について	1	全職員
安全管理・事故防止	2	全職員

③受講者数

	27 年度	26 年度	25 年度
受講者数	1,295	1,400	856

(成果・課題等)

- ・ スポーツ教室、文化教室とも企画を工夫し受講生増につなげることができた。スポーツ教室は健康維持が大きな目的になっていることから、継続性が高いという特徴があるが、受講継続者が減少した教室については見直しを行い、受講料の増収を図った。文化教室においても、新規教室の開拓を行うなど受講生の確保及び支出の削減に努め収益を確保した。
- ・ 陶芸教室は、電動ロクロの数等により受入れ人数に制限があるが、陶芸釜はほぼフル稼働状態で運営することができている。継続者が多いことで収益の安定性が図られることや、経験を活かしたボランティア活動につなげることができている。反面、今後に向けて新たな受講生の獲得や、実習室の利用方法等、収益増の取組の検討も必要である。
- ・ 職員研修受託事業は、確実な収益が見込まれる事業である。平成 27 年度から契約方法が変更になり特命随意契約の事業ではなくなったことから、今後も内容の精査等を行いながら事業受託に努める必要がある。

Ⅲ その他の事業（定款第 4 条第 1 項第 5 号）

1 他の機関、団体が行う事業への協力（定款第 4 条第 1 項第 5 号）

<共催>

- (1) NPO 法人 R K H 研究所 各種パソコン関連講座開催への共催
- (2) なかはらママカフェ in 生涯学習プラザの共催

<後援>

- (1) 第 25 回体操フェスティバルかわさき 2015 開催に伴う後援
- (2) ゆりがおか児童合唱団 第 39 回定期演奏会の開催に伴う後援
- (3) かわさき体操の集い 2015 の開催に伴う後援
- (4) 第 20 回海外高校生による異文化交流プログラム開催に伴う後援
- (5) かわさき市民フロンティア体験講座の開催に伴う後援
- (6) 第 13 回おと絵がたり本公演の開催に伴う後援
- (7) KAWASAKI しんゆり映画祭 2015 開催に伴う後援
- (8) 2015 少年の祭典ボレロの開催に伴う後援
- (9) 総合型地域スポーツクラブ体験研修に伴う後援
- (10) 健康体力フェア 2016 の開催に伴う後援
- (11) 川崎童謡の会七夕コンサートの開催に伴う後援
- (12) 図書館フォーラムかわさき 2015 の開催に伴う後援

2 職員研修（定款第4条第1項第5号）

開催日	内容	対象	参加数
4月1日	生涯学習財団について、服務、庶務、経理事務等	財団職員 (新規採用職員)	15
4月21日	Outlook 研修	財団職員	19
5月19日	パソコン研修 Word 基礎編	財団職員	14
6月4日	パソコン研修 Word 応用編	財団職員	11
6月15日	応急手当研修、普通救命講習	財団職員	7
7月7日	経理事務研修	財団職員	12
9月11日	ユニバーサルデザイン チラシ作成研修	財団職員	16
10月15日	パソコン研修 Excel 基礎編	財団職員	17
10月29日	地域研修 (小杉コンシェルジュになろう)	財団職員	14
11月9日	パソコン研修 Excel 応用編	財団職員	9
12月2日	コンピューターセキュリティー 個人情報管理研修	財団職員	16

3 消防・防災訓練

(1) 平成27年8月24日(月) 9時15分～10時00分

- ①訓練種別 防災訓練
- ②訓練内容
 - ア 非常放送設備の取り扱い
 - イ 避難誘導
 - ウ 救助、応急処置
 - エ 非常持ち出し、設備点検
 - オ 帰宅困難者対応訓練

(2) 平成28年2月22日(月) 9時15分～10時00分

- ①訓練種別 消防訓練
- ②訓練内容
 - ア 火災受信機、非常放送設備の取扱
 - イ 通報・避難誘導訓練
 - ウ 消火器による消火訓練
 - エ 消火栓ホースによる放水訓練
 - オ 避難器具（オリロー、緩降機）の取扱

4 職員採用（定款第4条第1項第5号）

●平成27年度職員の採用・選考について

- (1) 学芸室（非常勤専門嘱託職員）平成27年4月1日採用 公募2名
 - ・募集期間 平成27年1月9日～2月10日
 - ・応募者 26名 採用2名（現代美術・漫画）
- (2) 学芸室（常勤専門嘱託職員・主任）平成27年4月1日採用 公募1名
 - ・募集期間 平成27年1月15日～2月17日
 - ・応募者 9名 採用1名（映画）
- (3) 子ども夢パーク（非常勤嘱託職員）平成27年4月1日採用 公募3名
 - ・募集期間 平成26年10月23日～平成27年1月9日
 - ・応募者 6名 採用1名
- (4) 子ども夢パーク第2次募集（非常勤嘱託職員）平成27年4月1日採用 公募2名
 - ・募集期間 平成27年1月29日～2月18日
 - ・応募者 2名 採用1名
- (5) 総務室1名・事業推進室1名・学芸室総務課1名・青少年の家1名・子ども夢パーク1名（非常勤嘱託職員）平成27年4月1日採用 公募5名
 - ・募集期間 平成26年12月15日～平成27年2月12日
 - ・応募者 29名 採用5名
- (6) 総務室長・総務係長（常勤嘱託職員）平成27年4月1日採用 推薦2名
- (7) 総務室1名・事業推進室3名（非常勤嘱託職員）平成27年4月1日採用 推薦4名
- (8) 学芸室（非常勤専門嘱託職員）平成27年5月1日採用 公募1名
 - ・募集期間 平成27年3月10日～4月9日
 - ・応募者 14名 採用1名（日本近現代史）
- (9) 青少年の家1名（非常勤嘱託職員）平成27年6月1日採用 公募1名
 - ・募集期間平成27年3月23日～4月20日
 - ・応募者 1名 採用1名
- (10) 学芸室（非常勤専門嘱託職員）平成27年7月1日採用 公募1名
 - ・募集期間 平成27年4月24日～5月19日
 - ・応募者 5名 採用1名（民俗）
- (11) 総務室1名（非常勤嘱託職員）平成27年7月1日採用 公募1名
 - ・募集期間 平成27年5月1日～5月19日
 - ・応募者 7名 採用1名

5 評議委員会等の開催状況について

	開催年月日	主な決議事項等
評議委員会	平成27年 6月19日	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度決算に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について 理事の選任について
理事会	平成27年 5月28日	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度事業報告の承認について 平成26年度決算に係る計算書類の承認について 行政庁への定期提出書類の承認について 第1回評議委員会（定時）の開催について 理事の選任議案について 平成27年度収支補正予算について
理事会	平成27年 6月22日	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 副理事長（業務執行理事）及び常務理事（業務執行理事）の選定について
理事会	平成27年11月17日	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定個人情報等の適正な取り扱いに関する基本方針の制定について 職員就業規程の一部改正について 嘱託職員就業規程の一部改正について 臨時職員就業規程の一部改正について
理事会	平成28年 3月22日	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度収支補正予算について 平成28年度事業計画について 平成28年度収支予算について 生涯学習推進特定資産の一部取崩しについて 行政庁への定期提出書類「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」の承認について 行政庁への「事業の一部廃止に伴う変更認定申請」について 理事長の勤務日数の変更及び「常勤役員の報酬並びに費用支給に関する規程」の一部改正について 処務規程の一部改正について 会計規程の一部改正について 事務局長の選任について